

7章 測定記録



ARI エー・アール・アイ
Amenity Research Institute

Copyright © 2002-2005 Amenity Research Institute Co., Ltd. All rights reserved.

7.測定記録

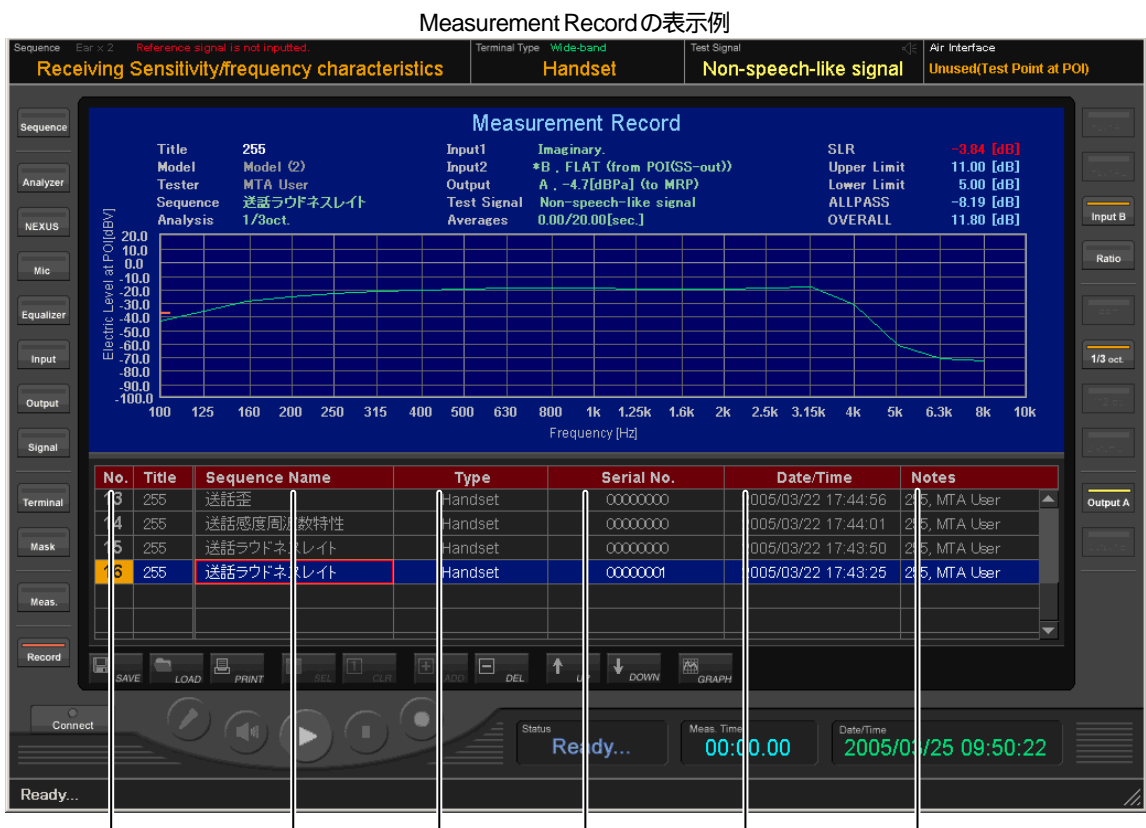
測定記録は、<Current Measurement>で表示される分析画面で測定したデータを記録したもので、<Measurement Record>画面ではこの測定記録を参照することができます。<Measurement Record>画面は測定記録のレコード一覧リストと分析画面の2分割ウィンドウ表示になっており、選択したレコードリストの分析結果をグラフで確認することができます。記録された測定結果は後で参照することができるのはもちろん、測定値をCSV形式のテキストファイルで保存したり、分析画面イメージ（および測定値）を印刷することができます。

7.1 Measurement Record

以下に、<Measurement Record>リストの各部の名称と機能の概要について記します。

7.1.1 各部の名称と機能

<Measurement Record> リストの各部の名称と機能の概要は以下のようになっています。



<No.> <Sequence Name.> <Type> <Serial No.> <Date/Time> <Notes>

以下に各部の機能の概要について記します。

<No.>

<No.>は、リストの行番号を連番で表示します。

<Sequence Name>




記録された測定データの試験項目（シーケンス）名を表示します。記録時のデフォルト設定は、該当するシーケンスの<Analyzer Setup>リストの<Name>に入力されている文字列になります。<Sequence Name>の内容は記録後に編集することが可能になっています。入力できる最大文字数は半角80文字になっています。

- <Type>
記録された測定のシーケンスで設定されていた試験端末のタイプを表示します。<Type>の内容は記録後に再選択することが可能になっています。
- <Serial No.>
記録された測定のシーケンスで設定された試験端末のシリアル番号を表示します。<Serial No.>の内容は記録後に編集することが可能になっています。入力できる最大文字数は半角80文字になっています。
- <Date/Time>
記録された測定日時を表示します。<Date/Time>の内容は記録後に編集することが可能になっています。入力できる最大文字数は半角80文字になっています。
- <Notes>
各リストに対してメモなどを設定するための項目です。記録直後のデフォルト内容は、<Current Measurement>の<分析画面>で設定されている<Title>および<Tester>の連結文字列が設定されます。<Notes>の内容は記録後に編集することが可能になっています。入力できる最大文字数は半角80文字になっています。

7.1.2 測定記録のグラフ表示

測定記録のグラフはメインビュー内でフル画面表示する事もできます。
測定記録のグラフのフル画面表示は次の操作で行います。

  グラフ表示する測定記録のリストを選択します。

  ツールバーの<GRAPH >ボタンをクリックもしくは、Ctrl + スペース  キーを押下します。
ツールバーの<GRAPH>ボタンをクリックすると、グラフ表示に切り替ります。



ツールバーの<GRAPH>ボタンをクリック

下図は、測定記録のグラフ表示の例です。測定記録のグラフ表示は、<Current Measurement>の分析画面と同様に右サイドバーボタン（入力チャンネル切替ボタン、分析器ボタン）をクリックすることで、表示する内容をそれぞれ切り替えることができます。



測定記録のグラフ表示の例



解説

グラフ表示のチャンネル切替え、分析切替えについては6章「分析画面」を参照してください。


7.1.3 測定記録のエクスポート(テキスト形式)

測定記録をテキスト形式のCSVファイルへエクスポートするには、次の操作を行います。



該当する測定記録のリストを選択します。



ツールバーの<SAVE>ボタンをクリックもしくは Ctrl +  キーを押下します。

ツールバーの<SAVE>ボタンをクリックすると、下図のように<測定結果のエクスポート>ダイアログボックスが表示されます。(メニューバーで操作する場合、<ファイル> - <エクスポート>でダイアログボックスが表示されます。)



ツールバーの<SAVE>ボタンをクリック

<測定結果のエクスポート(テキスト形式)>ダイアログボックスは、該当する測定記録の内容から保存可能な分析ボタンを活性状態で表示します。

測定結果のエクスポート(テキスト形式)

選択中の行のみ
No. 16 255
送話ラウドネスレイト 2005/03/22 17:43:25

すべて

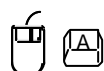
行指定
「1,3,6」のように行番号をカンマで区切って指定するか、
「4-8」のように行番号の範囲を指定してください。

ファイル名書式:

書式指定
ファイル名書式に以下の文字列を指定すると、ファイル名を自動的に生成します。

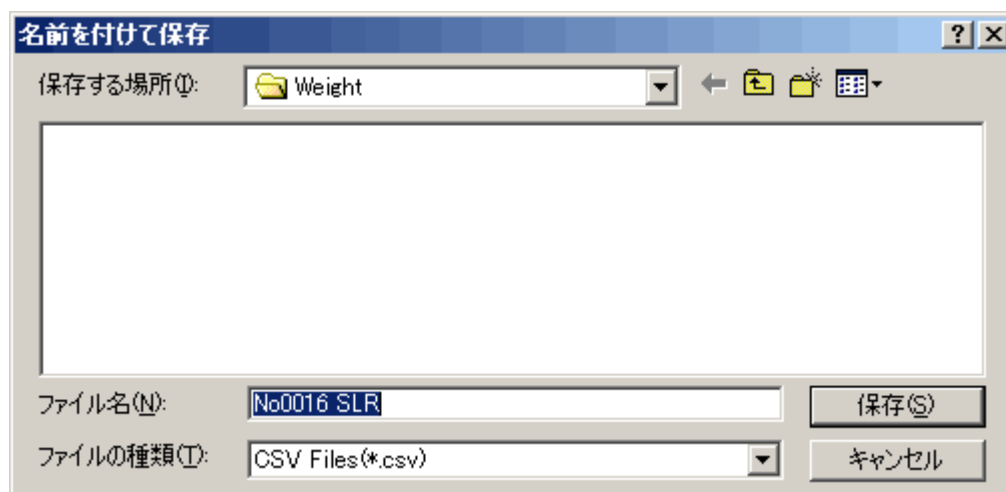
#filetime	: 記録時刻
#sequence	: シーケンス省略名称
#name	: シーケンス名称
#no	: リスト番号
#serial	: 端末名称
#specification	: 規格名
#title	: タイトル

<測定結果のエクスポート(テキスト形式)>ダイアログボックス



保存する分析内容を選択して<保存>ボタンをクリックします。

<エクスポート>ボタンをクリックすると、保存先を指定するための<名前を付けて保存>ダイアログボックスが表示されます。



<名前を付けて保存>ダイアログボックス



保存先とファイル名を入力して<保存>ボタンをクリックします。

<保存>ボタンをクリックすると指定されたファイル名で、さきを選択された分析内容の記録をテキスト形式のCSVファイルへ出力します。



解説

測定記録のエクスポート操作は<Measurement Record>画面でのみ有効となります。

テキスト形式で保存された分析結果のCSVファイルの内容は、以下のような形式になっています (1/3oct.バンド分析の結果を保存した例)。

<p><Input A1>測定データ出力 Input No.,2 Name,送話感度、伝送特性 Test Point,MRP 聴感補正1,フラット 聴感補正2,フラット Notes,試験信号レベルの調整用</p> <p><NEXUS>設定データ NEXUS No.,1 Name,Type 4939 マイク電源供給,AUTO マイク感度,4.250000,[mV/Pa] ケーブル長,1,[m] 校正値,94.000000,[dBspl] 補正係数,1.010000 Notes,from MRP</p> <p>No,中心周波数,二乗平均 ,[Hz],[V²],[dBV] Allpath,1.77E-01,-7.52431, 1, 99.21,9.752684E-003,-20.108758 2, 125.00,9.611914E-003,-20.171901 3, 157.49,1.328437E-002,-18.766591 4, 198.43,1.006479E-002,-19.971951 5, 250.00,1.176319E-002,-19.294750 6, 314.98,8.662906E-003,-20.623364 7, 396.85,8.552360E-003,-20.679140 8, 500.00,9.252970E-003,-20.337188 9, 629.96,1.086187E-002,-19.640954 10, 793.70,9.139058E-003,-20.390986 11,1000.00,8.722492E-003,-20.593594 12,1259.92,1.124742E-002,-19.489471 13,1587.40,9.700441E-003,-20.132085 14,2000.00,1.046642E-002,-19.802020 15,2519.84,1.063890E-002,-19.731035 16,3174.80,1.028088E-002,-19.879699 17,4000.00,9.947080E-003,-20.023044 18.5039.68.1.016977E-002,-19.926888</p>	<p><Input B>測定データ出力 Input No.,3 Name,送話感度、伝送特性 Test Point,POI SS-out 聴感補正1,フラット 聴感補正2,フラット Notes,測定系の出力点</p> <p>No,中心周波数,二乗平均 ,[Hz],[V²],[dBV] Allpath,1.75E-01,-7.57096 1, 99.21,9.276502E-010,-90.326158 2, 125.00,1.308416E-009,-88.832542 3, 157.49,1.157147E-009,-89.366116 4, 198.43,1.406091E-009,-88.519866 5, 250.00,3.369730E-009,-84.724049 6, 314.98,2.544484E-009,-85.944002 7, 396.85,3.833567E-009,-84.163970 8, 500.00,4.969729E-009,-83.036673 9, 629.96,6.426208E-009,-81.920452 10, 793.70,7.956522E-009,-80.992768 11,1000.00,1.173092E-008,-79.306681 12,1259.92,1.172322E-008,-79.309531 13,1587.40,1.675495E-008,-77.758568 14,2000.00,2.238620E-008,-76.500195 15,2519.84,3.153665E-008,-75.011844 16,3174.80,4.167891E-008,-73.800836 17,4000.00,4.988504E-008,-73.020297 18,5039.68,6.037985E-008,-72.191080 19,6349.60,7.191955E-008,-71.431530 20,8000.00,8.402073E-008,-70.756136</p> <p><規格値> SLR, 4.585631, [dB]</p>
--	---

テキスト形式で保存された1/3octバンド分析の表示例(抜粋)

7.1.4 測定記録のエクスポート(バイナリ形式)


測定記録はバイナリ形式のファイルで保存することができます。レコードデータのバックアップや他のPCにインストールされているMTA-02WB-Sでのデータのインポートなどに使用できます。

測定記録をバイナリ形式のファイルへの保存するには、次の操作で行います。

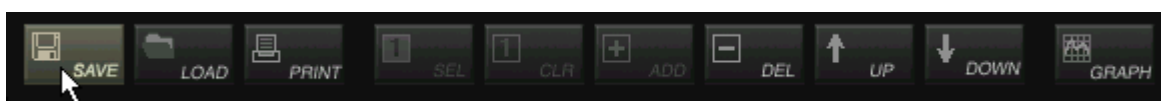


該当する測定記録のリストを選択します。



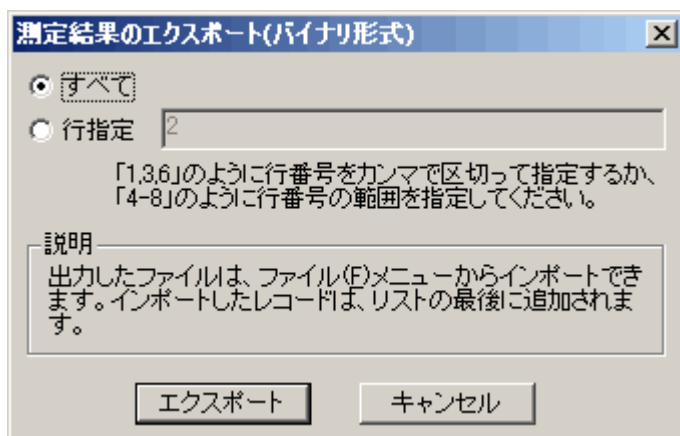
ツールバーの<SAVE>ボタンをクリックもしくは Ctrl +  キーを押下します。

ツールバーの<保存>ボタンをクリックすると、下図のように<測定結果のエクスポート>ダイアログボックスが表示されます。(メニューバーで操作する場合、<ファイル>-<エクスポート>でダイアログボックスが表示されます。)



ツールバーの<SAVE>ボタンをクリック

<測定結果のエクスポート(バイナリ形式)>ダイアログボックスは、すべてのレコードリストもしくは行指定による任意のレコードリストをエクスポートするかを選択するボタンを表示します。

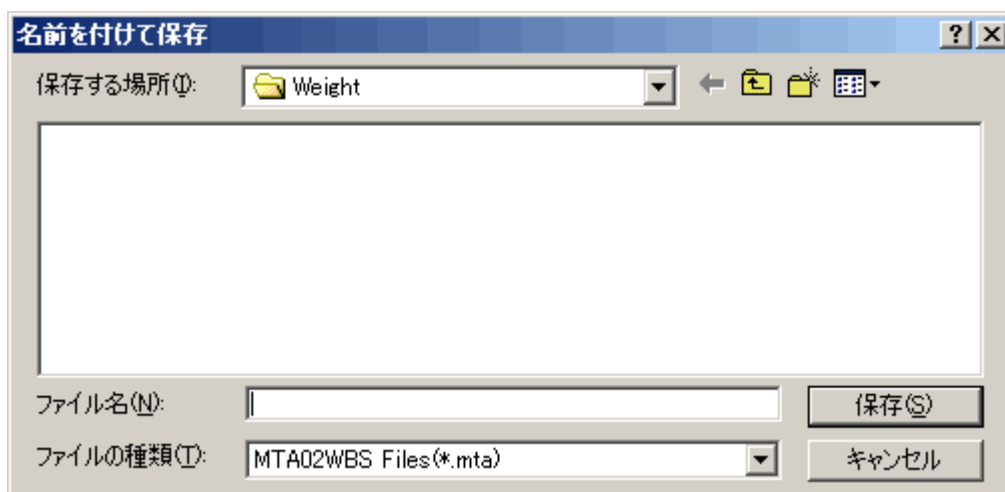


<測定結果のエクスポート(バイナリ形式)>ダイアログボックス



エクスポートするリストを<すべて>か<行指定>オプションボタンをクリックして選択し、<保存>ボタンをクリックします。

<エクスポート>ボタンをクリックすると、保存先を指定するための<名前を付けて保存>ダイアログボックスが表示されません。行指定の場合は、対象のレコードリストのNo.を入力してください。



保存先とファイル名を入力して<保存>ボタンをクリックします。

<保存>ボタンをクリックすると指定されたファイル名で、さきを選択されたリスト内容をバイナリ形式のレコードデータにファイルへ出力します。



解説

測定記録のエクスポート操作は<Measurement Record>画面でのみ有効となります。






解説

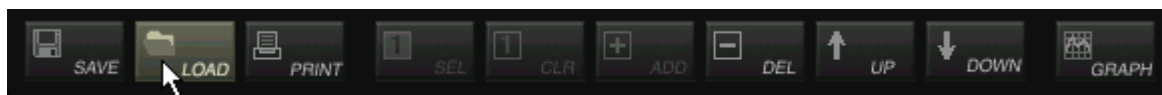
レコードデータ (バイナリ形式) は本ソフトウェアのファイル形式です。他アプリケーションではご利用になれません。

7.1.5 測定記録のインポート

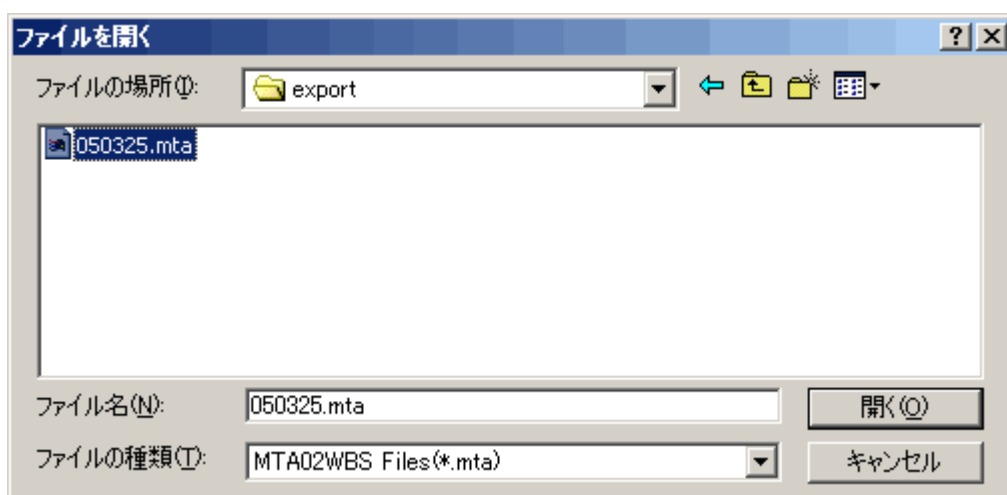
バイナリ形式で保存した測定記録データはインポートしてレコードリストに追加する事ができます。測定記録データをインポートするには、次の操作で行います。

  ツールバーの<LOAD>ボタンをクリックもしくは Ctrl +  キーを押下します。

ツールバーの<LOAD>ボタンをクリックすると、下図のようにファイルの保存元を指定する<開く>ダイアログボックスが表示されます。(メニューバーで操作する場合、<ファイル> - <インポート>でダイアログボックスが表示されます。)



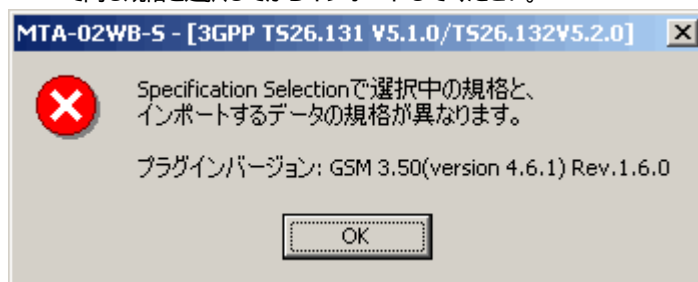
ツールバーの<LOAD>ボタンをクリック



  保存元とファイル名を指定して<開く>ボタンをクリックします。

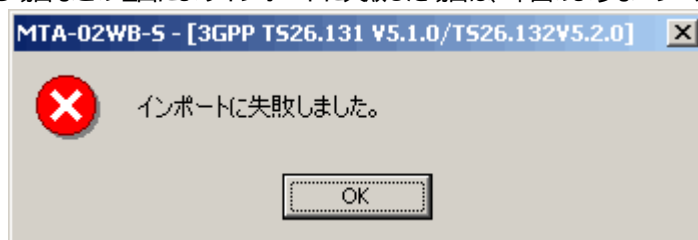
<開く>ボタンをクリックすると指定されたファイルが、レコードリストヘデータをインポートします。

選択中の規格とインポートされたファイルの規格(プラグインバージョン)が違ふときは、下図のようなエラーメッセージが表示されます。規格(C)メニューで同じ規格を選択してからインポートしてください。



異なる規格間のインポートエラーメッセージ

ファイルが破損している場合などの理由によりインポートに失敗した場合は、下図のようなエラーメッセージが表示されます。

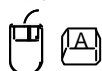


インポートエラーメッセージ

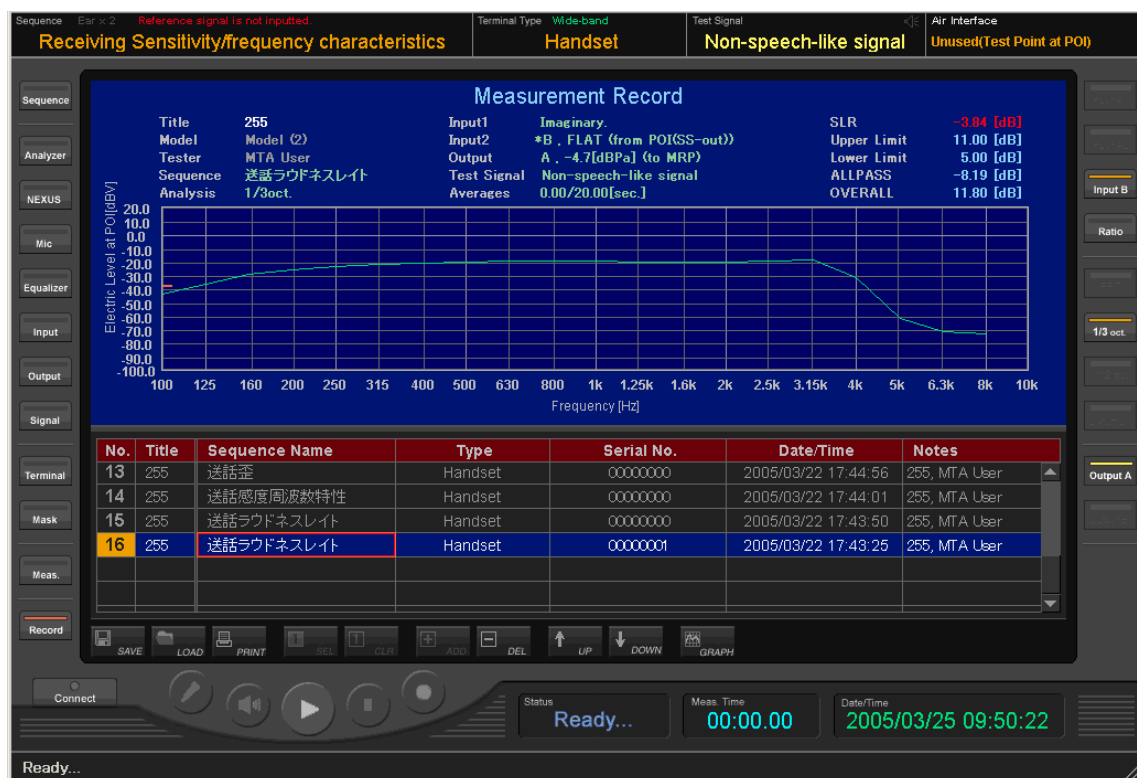
7.1.6 測定記録の印刷

Measurement Recordに記録した測定データは印刷することができます。

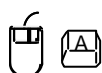
測定グラフの印刷は、次の操作で行います。



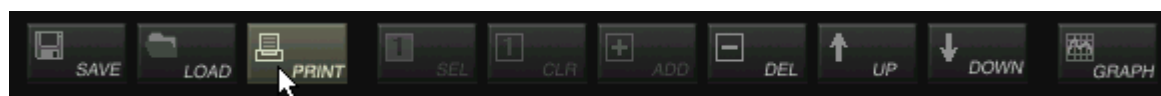
該当する測定記録のリストを選択します。



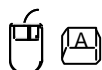
測定記録の分析画面の表示



ツールバーの<印刷>ボタンをクリックもしくは、Ctrl + キーを押下します。
 ツールバーの<印刷>ボタンをクリックすと、<印刷>ダイアログボックスが表示されます。



ツールバーの<印刷>ボタンをクリック



<印刷>ダイアログでプリンターを選択して<OK>ボタンをクリックします。

解説
 1/3oct.、1/12oct.の分析画面の印刷は、グラフィメージの印刷と測定値の表と一緒に印刷されます。FFT分析の印刷はグラフィメージのみ印刷します。

解説
 測定記録の印刷操作は<Measurement Record>画面でのみ有効となります。